



くら た かん じ  
倉 田 寛 次

しみん  
市民クラブ

### 家庭医療クリニックの 医師の確保は

**問** 美杉地域の家庭医療クリニックの医師が、平成31年3月末で退職すると聞いている。

美杉地域内の巡回診療や訪問診療も、家庭医療クリニックの医師が担っている中で、このままだと、市長がうたってきた、市民の安心が失われてしまう。

美杉地域に住む住民の権利として申し上げるが、4月以降の医師の確保について、津市としてどのように考えているのか。

### 引き続き県病院事業庁 と協議を重ねる

**答** 現在、三重県立一志病院から津市家庭医療クリニックへ派遣されている医師は、平成29年4月の開設当時から勤務していただいているが、3月中旬に一志病院を退職されることになっている。

同医師の退職後、3月末までの医師派遣については、一志病院の医師が交代で診療に当たっていただくことになっている。

4月以降に派遣していただく医師について、これまで県病院事業庁と協議してきたが、現段階では後任者が決定していない。

地域医療の確保が中断することなく、安心できる地域医療体制が提供できるよう、引き続き、県病院事業庁と協議を重ねる。

### ●その他の質疑・質問●

- 市有財産の管理について、その後の進捗は
- 最終処分場の周辺整備は
  - 県道一志美杉線の進捗は
  - 市に対する要望は
- レンタサイクルの事故に対する対応と、その後の改善は
- 獣害対策について
  - 一斉捕獲の状況は
  - 雌ザルを捕獲する場合の資格は



▲美杉地域のレンタサイクルの事故防止対策を



いわ わき けい いち  
岩 脇 圭 一

いっ しん かい  
一 津 会

### 大規模災害発生時の学 校における対策は

**問** すでに各小中学校、幼稚園においては危機管理マニュアルを策定しているが、活用、訓練等の備えはどのような状況か。

また、子どもの安否確認等をはじめとして地域との連携が重要であるが、さらに連携を深めるためにはどうするのか。

新しいハザードマップも策定されたが、河川防災の面での取り組みについてはどのように考えているのか。

### 災害発生時に対処できる よう取り組んでいる

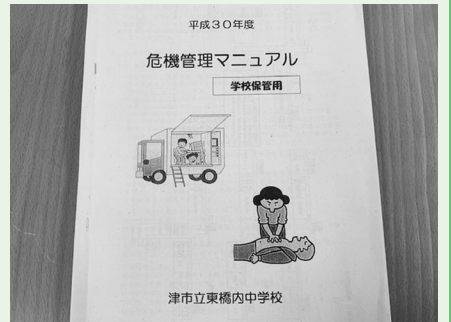
**答** 危機管理マニュアルの中には、災害発生時における避難計画が盛り込まれており、各学校では避難計画に基づいた避難訓練を実施している。避難計画については、毎年4月に見直しをしており、災害発生時に対処できるよう取り組みを進めている。

また、各学校では自治会やPTAと連携した取り組みを進めているが、今後さらなる充実を図る必要があると考えている。

平成30年度に三重河川国道事務所と連携し、雲出川に係る防災教育のための教材を、香良洲小学校をモデル校として作成している。今後は必要に応じ、この教材を市内の小中学校で活用していきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 浸水対策について
  - 雨水管理総合計画の都市浸水対策達成率の目標について
  - 新たなハザードマップについて
- 津市行政経営計画について
  - これまでの3年間の取り組みと成果は
  - 職員の持つ知識、ノウハウの継承と時代の変化への対応について



▲各学校で策定されている危機管理マニュアル